



高取の古道と道しるべ (2)

ふるさと
再発見!

前号につづいて高取町内の古道と道しるべについて紹介します。
今回は東西道と参詣道です。

(街道名/地名: 石に彫られた文字)

土佐街道 西国三十三所めぐりの巡礼道でもあった。五番葛井寺から六番壺阪寺までの街道(藤井寺~古市~上の太子~竹内~長尾~新庄~御所~土佐)には「つぼさか」と書かれた多くの道標が残っています。また薩摩から松山を通過して壺阪寺に抜ける間道には天保七年の古い道標があります。

(御所)~車木~兵庫~薩摩~森~下土佐

[車木: 越智岡村道路元標]、兵庫: つぼ坂、松山: つぼ坂道(天保七年)、壺阪寺近道(転倒)

御所街道 飛鳥から御所へ抜ける街道で古くは「越の道」と呼ばれ、与楽から山越えて奈良方面へ抜ける間道もあります。

(下平田~真弓)~与楽~越智~(観音寺~御所)

与楽: おか寺・なら、をかてら(地藏)



壺阪道 壺阪奥の院へ道筋には梵字と仏像が刻まれた江戸時代の町石が残っています。

清水谷~壺阪寺~奥の院 (町石)

高取: 七丁・二丁、奥の院(香高山)への町石(慶長九年)三丁・四丁・五丁・七丁・(一丁は歴史研修センターにて保管)、五百羅漢道

観音道 上土佐~下子島~上子島~観音院 (町石)

下子島: 観音院道十六丁、十五丁、上子島: 十一丁・七丁・三丁・二丁・一丁

弁天道 丹生谷~奥山~船倉弁天神社 (町石)、市尾(鳥居山)~藤井~高井~船倉弁天神社

奥山: 辯天神社十丁・九丁・四丁・二丁・一丁、弁ざいてん(高井からの参詣道)

清九郎墓道 この道は大和清九郎墓への参詣道とともに吉野(桧垣本)へ抜ける間道でもあったと思われます。桧垣本には清九郎墓を示す安政二年の道標も残っています。

丹生谷~奥山~清九郎墓 (町石)

奥山: 清九郎墓、九丁~四丁(昔は十八丁までであったようだ)、ほこたて・岩坪・ひがいもと

K.N

船倉弁天神社の御田祭

おんだきい

平成24年4月1日 10:00~ 神事

パワースポット

江戸天保時代には17ヶ村の郷社として信仰された由緒ある船倉弁天神社。

県下では珍しい標高310mの高地で毎年4月の第一日曜日に執り行われる「オンダ」、牛面を被った牛男と田男の農耕作業と早乙女による田植え所作が見どころ。

見学には丹生谷(奥山)または市尾(高井)から徒歩で。

(17村: 薩摩/森/吉備/松山/羽内/藤井/市尾/丹生谷/谷田/與楽/妙法寺/寺崎/越智/車木/兵庫/田井庄/薬水)